

東南アジアの画像史料：物語の浮き彫りを読み解く

青山 亨（外国語学部インドネシア語専攻）

教員ウェブサイト <http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/aoyama/>

授業関係ブログ <http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/>

授業科目	地域・国際研究方法論
授業題目	画像史料の扱い方（521M0006）
対象学年	博士前期課程・学部（共通科目の説明参照）
開講学期	2 学期
曜日・時限	第 8 週：11 月 14 日（水）4 限、第 9 週：11 月 28 日（水）4 限
教室	102
共通科目	専修専門「歴史学（世界史 II）」地域国際コース（7136）
担当教員	授業全体についての問い合わせは担当教員の吉田ゆり子先生まで

講義の目標

インドネシアのジャワ島中部にあるプランバナン寺院は 9 世紀中頃に建立されたヒンドゥー教寺院建築の傑作である。この石造寺院の回廊壁面にはヒンドゥー教の叙事詩『ラーマーヤナ』の浮き彫りが描かれている。この授業では、プランバナン寺院建立の歴史的背景を説明したあと、浮き彫りに描かれた物語世界自体の分析と、物語と当時のジャワ社会の関係の分析という二つの視点を踏まえつつ、浮き彫りを読み解くことを目標とする。

前編（第 8 週 2007-11-14）

概要

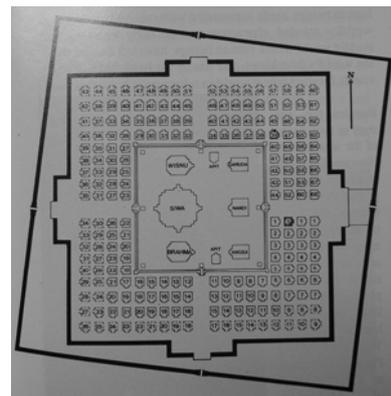
- ・ インドネシア共和国ジャワ島にある同国最大のヒンドゥー教寺院遺跡群。
- ・ 中部ジャワ州プランバナン村（Prambanan）に位置する。
- ・ 中部ジャワのプランバナン平原に拠点をおいた、ヒンドゥー教を信奉する古マタラム王国（サンジャヤ王朝）の王によって 9 世紀頃に建立。

歴史的背景

- ・ 古マタラム王国（サンジャヤ王朝）のバリトゥン王（在位 898 年～910 年）の建立。
- ・ 中部ジャワ州クトゥ盆地には、ほぼ同時期のボロブドゥール寺院。シャイレンドラ王朝：大乘仏教を信奉する。
- ・ 古マタラム王国は 10 世紀に東部ジャワに遷都。その後、地震などにより崩壊。
- ・ 14 世紀、マジャパヒト王国がバリ島を征服。バリ島のヒンドゥー・ジャワ化が進展。
- ・ 16 世紀、ジャワ島のイスラーム化が進展。
- ・ 17 世紀、イスラームを信奉する新マタラム王国の勃興。
- ・ 18 世紀、オランダによる植民地支配が進展。オランダ領東いね。1755 年、マタラム王国はスラカルタとジョグジャカルタに分裂。
- ・ 1937 年、オランダによる復作業開始。
- ・ 1945 年、インドネシア共和国の独立宣言。
- ・ 1991 年、ユネスコの世界遺産登録
- ・ 2006 年 5 月 27 日ジャワ島中部地震で被害。現在、観光客の立ち入りは禁止。

寺院の配置

- 390m、222m、110m 四方の囲壁に囲まれる。
- 中苑：224 棟の小祠堂
- 内苑：四方中央に門、東側が正面、
- 内苑：中央にシヴァ堂(47m)、北にヴィシュヌ堂、南にブラフマー堂
- この3堂に向かいあって乗獣であるナンディ、ガルダ、ハンサ堂などがある。8棟。
- シヴァ堂：シヴァ神像（東・中央）、アガスティヤ仙像（南）、ガネーシャ像（西）、ドゥルガー女神（北）
- 浮き彫り：ラーマヤナ（シヴァ堂+ブラフマー堂）、クリシュナ物語（ヴィシュヌ堂）



宗教的背景

- 東南アジアの「インド化」：グプタ王朝発のサンスクリット文化、南インドとの交易
- 複数の在地領主の中からインド的王権（ラージャ）の出現
- 余剰都市人口を維持するための農業生産力の向上、海外からの奢侈品の到来
- ヒンドゥー教
- 宇宙の時間、クリタ・ユガ、トレーター・ユガ、ドヴァーパラ・ユガ、カリ・ユガ。
- ヒンドゥー教の神々：三大神の位置づけ。ブラフマー神、ヴィシュヌ神、シヴァ神。
- シヴァ神：シヴァ神とその眷属。アガスティヤ、ガネーシャ、ドゥルガー
- ヴィシュヌ神：10アヴァターラ（転生）。第7の転生ラーマ。第8の転生クリシュナ。
- ラーマ信仰の勃興期：バクティ運動、南インド発
- ヒンドゥー叙事詩：ラーマヤナ、マハーバーラタ

ビデオ紹介

- TBS 世界遺産第 208 回「プランバナン寺院遺跡群」（約 25 分）
- 放送日：2000 年 07 月 02 日

浮彫を読み解くために

- 寺院の社会的位置：公的な性格、王権の行使（王のプロジェクト）
- 王権の行使：労働力の動員、専門家集団
- 集団による創作：設計者、下絵師、石工、労働者（集団作業）
- 浮き彫りの物理的な制約：限られた空間
- 浮き彫りの作成：題材の選択、エピソード（描く場面）の選択、場面の構成、人物・背景・小道具、人物の表情

